

「農・食 & 健康Valley」プラットフォーム: 総括図

概要

地域観光施設とその周辺の地域性の高い設備/資源をValley(溪谷と山々)になぞらえて基盤構築を進める。すなわち、観光施設を中心拠点とすることで、食とそれを支える農並びに健康医療など地域性の高い要素に求心的ベクトルを付与し、全ての要素を有機的に包括するプラットフォームを構築する。

統括 奥伊勢BSC・三重大学地域研究支援部門

地域: 大台町

大台町報徳診療所

健康医療
(ゼロ次予防)

農

(農産物)

道の駅おおだい

宮川物産

地域観光施設
(奥伊勢フォレストピア)
「谷間の中心(拠点)」

食

(食材/レシピ)

★食習慣・ストレス・運動調査・トレーニングプログラム開発: 結果のフィードバック→食によるストレス緩和、認知症対策での個別指導

★地域食材(柑橘類、無臭ニンニク、ワサビ、など)の栽培・成分分析

★食材の確保とレシピ化 & ブランド化

奥伊勢BSC

★食の機能性・評価のヒトデータ→健康医療への還元

「研究・技術を理解し、地域資源を企業の経営資源と捉え、地域側に立って研究開発機関側との対話を橋渡しする存在」

産官学連携体

公設試
(応用研究)

アカデミア
(基礎研究)

地域企業
(事業化)

【プラットフォームで取り組む課題】

- ・機能性食品素材・商品開発
- ・健康の維持・増進のための食事メニューとトレーニングプログラム開発